

# 三鈷寺縁起

当山は山号を西山と称え、寺号を三鈷寺さんこと申します。

関西随一の眺望を誇る当山は洛西西山の中腹に位置しています。比叡山を始めとする東山三十六峰、北山、京都市街、宇治、木津方面まで一望出来ます。江戸時代に書かれた「都名所図絵」に「二大仏七城俯瞰の地」と記され、歴史と伝統を持つ霊山です。

当山は平安時代の承保元年（一〇七四）に源算上人が草庵をむすんで北尾往生院と号したのが始まりです。二祖観性法橋、三祖慈鎮和尚（慈円）と入寺され、次いで建保元年（一二二二）法然上人門下の證空善慧国師、即ち西山上人が伝燈されここを不断如法念仏道場とされるところにも名も三鈷寺と改められました。これは背後の山容が仏器の三鈷に似ているからと言われています。



三鈷寺本堂・華台廟

宝治元年（一二四七）十一月二十六日、西山上人入滅となり、全身を当処に葬し、上人に深く帰依された蓮生れんじゆう（宇都宮頼綱）が塔を建て観念三昧院華台廟と称し歴代法燈され今日に及んでいます。

蓮生は百人一首の成立に深く関わった人物で、華台廟に西山上人と共に祀られています。

中世は浄土宗西山派の根本道場として多くの寺領を



境内から見る御来光

有しましたが、応仁の乱（一四六七）にて堂宇が荒廃し、その後常念仏・再興の論旨を授り、新に寺領を賜るも旧寺の如くには至りませんでした。

今日迄幾多の変遷を経ましたが、昭和二十六年（一九五一）五十二世台龍上人の徳望により四宗兼学（天台・真言・律・浄土）の本山として独立し、平成大修理が平成十四年春に完了し現在に至っています。



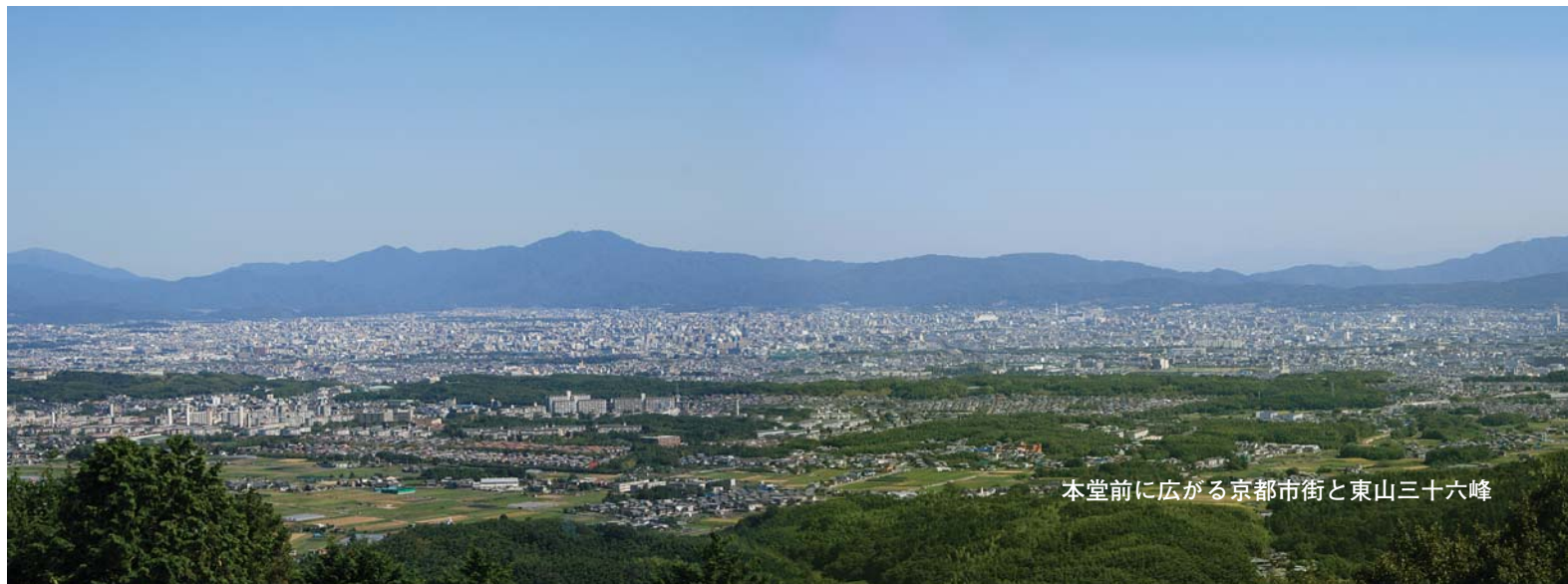
本堂前に広がる京の夜景



後嵯峨天皇宣旨による碑



白塀越しに見る京都市街



本堂前に広がる京都市街と東山三十六峰

洛西観音霊場第五番  
西山国師遺跡霊場第十二番

# 三鈷寺



〒610-1134 京都市西京区大原野石作町1323  
TEL 075-331-0022  
FAX 075-331-0206



※阿智坂から山道を登ると10分です  
善峰寺北門からも入山できます

## 客殿ご利用の案内

ご休憩等にご利用いただけます。  
詳細はお問合わせください。

おこない	一月二日
節分会	節分当日
彼岸会	春彼岸
盂蘭盆会	八月十五日
西山忌	十一月二十三日
本尊御縁日	毎月第二日曜日
写経会	
観月の夕べ	九月中旬

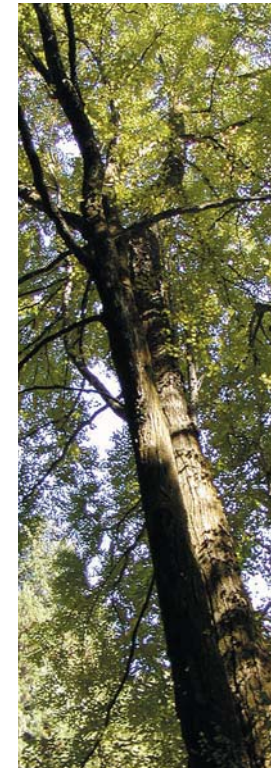
## 年中行事

## 花見ごろ

春……さくら、つつじ、しゃが  
夏……あじさい、きぎよう、高砂ゆり  
秋……はぎ、もみじ  
冬……なんてん、さざんか



西山上人思惟之御影



西山上人逆さ杖の  
桂の木(樹齢800年)

## 主たる寺宝

佛眼曼陀羅	観性法橋筆
当麻曼陀羅	西山上人筆
十一面観世音菩薩	西山上人筆
抱止阿彌陀如来	鎮勸用心
金身不動明王	慈覚大師作
	智証大師作
	宇都宮系図
	宇都宮頼綱画像
	三条称名院筆
	西山上人思惟像
	西山上人筆